

事務連絡
令和5年4月17日

各都道府県私立高等学校等主管課 御中

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

第22回「聞き書き甲子園」について（依頼）

標記事業は、全国の教育関係者や林業・水産業関係者をはじめ、民間団体・企業の協力を得て、全国の高校生が、「森・川・海の名人」の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法で記録し、社会に広くアピールする取組です。

新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで開催いたしますので、本事業の趣旨を御理解いただき、域内私立高等学校等への周知について御協力頂きますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策により、学校の業務負担が大きくなることが想定される場合には、周知の範囲及び方法について、全ての学校に一律に通知する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する等、貴課において必要に応じて御判断していただいてもかまわない旨申し添えます。

<参考>

事業名：第22回「聞き書き甲子園」

主催：第22回聞き書き甲子園実行委員会

（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、
NPO法人共存の森ネットワーク）

事務局：（特非）共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局

（TEL：03-6432-6580）

※実施要領の内容、推薦方法等に関するお問い合わせは、上記事務局あてに御連絡ください。

<担当>

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

（担当：前原）

TEL：03-5253-4111（内線2092）

令和5年4月17日

各都道府県私立高等学校等主管課 御中

聞き書き甲子園実行委員会

「第22回 聞き書き甲子園」について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より「聞き書き甲子園」へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本事業は、農林水産省と文部科学省の連携により、地域の生活様式・文化・伝統・芸能など、今まさに忘れられようとしている山の暮らしや埋もれかけている生業・技能を次の時代に語り受け継ぐため、高校生が「森・川・海の名人」*¹にじかに接し、若者らしいみずみずしい感性と感動とともに、「聞き書き」*²を行う事業として、平成14年度から行っております。現在は農林水産省、文部科学省、環境省、（公社）国土緑化推進機構、（特非）共存の森ネットワークの5者からなる実行委員会で当事業を主催し、高校生の受け入れと「名人」の推薦に協力いただく市町村（地域）と連携し、実施しております。

本年度「第22回聞き書き甲子園」を行うにあたっては、国や各都道府県の方針に従って新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、参加者の安全に十分配慮したうえで開催いたします。

つきましては、域内私立高等学校への周知にご協力をお願いいたします。各学校に配布するポスターおよび募集要項は、5月8日到着予定で各都道府県林務課宛にお送りし、各学校への発送も林務課より行って頂きますので、域内私立高等学校の住所録を林務課までご提供頂きますようお願いいたします。また、域内高等学校への周知にもご協力のほどお願いいたします。なお、各都道府県林務課には、この旨別途、ご連絡させて頂いております。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

※1 森、川、海にかかわる分野において優れた技や知見をもってその業を究め、他の生活者の模範となっている達人

※2 「聞き書き」とは、語り手の話を聞き、その言葉を記録することにより、語り手の技や人柄などを表現する手法

<本件問い合わせ先>

NPO法人共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局（小倉・三木）

TEL:03-6432-6580 FAX:03-6432-6590 MAIL:contact@kikigaki.net